

平成16年度 一般会計決算の概要



この資料は、平成16年度一般会計決算（速報値）の概要を取りまとめたものです。なお、決算については、監査委員の審査を経て、第3回市会定例会に上程することとなります。

財 政 局

目次

1 . 平成16年度一般会計決算のポイント	1 ~ 3
2 . 歳入決算の概要	4 ~ 6
(1) 歳入決算の概要	
(2) 市税の決算額について	
(3) 市債の決算額について	
3 . 歳出決算の概要	7 ~ 20
(1) 歳出決算の概要	
(2) 市民1人あたりでみた歳出決算	
(3) 財政の健全性の確立に向けた取組状況	
(4) 主要事業の決算	
(5) 市民に身近な事業に要する費用	
参考資料	21 ~ 25
< 一般会計 >	
1 . 歳入・歳出決算額及び実質収支	
2 . 歳出最終予算額と歳出決算額の対比	
3 . 地方交付税・臨時財政対策債の推移	
4 . 財政調整基金の推移	
5 . 市税決算の概要	
< 特別会計 >	
6 . 特別会計決算の概要	
< 企業会計 >	
7 . 企業会計決算の概要	
< 中期財政ビジョン >	
8 . 「中期財政ビジョン」主な重点取組への対応状況	

表示単位未満を四捨五入して端数調整をしていないものがあるため、合計等と一致しない場合があります。

1. 平成16年度一般会計決算のポイント

【実質収支】前年度に比べ約6億円増加し、過去10年間で最も大きな額

16年度の一般会計決算における実質収支、いわゆる決算剰余金は、前年度に比べ約6億円増の44億1,400万円となり、過去10年間で最も大きな額となりました。

これは、市税や県税交付金が予算に比べ増収となったことや、より効率的・効果的な事業執行に努めたことなどによるものです。

特に、職員一人ひとりが徹底したコスト意識を持ち「予算におけるメリットシステム」に取り組み、約14億円を節減したことが、実質収支の増要因となっています。

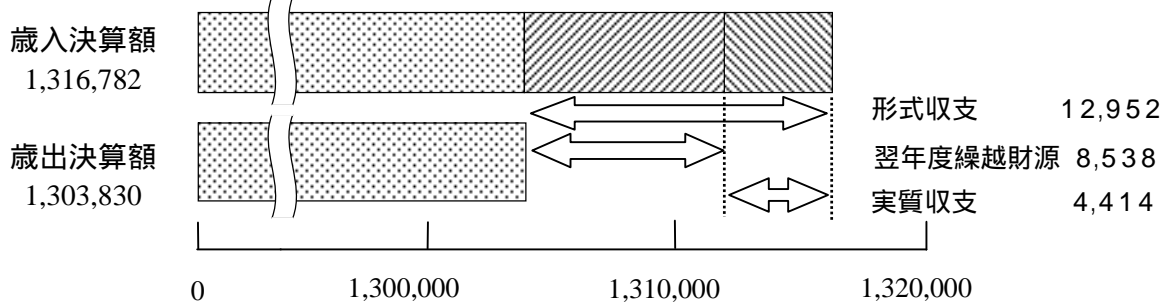
一般会計決算の状況

(単位：百万円)

	16年度	15年度	増減	増減比
歳入決算額 A	1,316,782	1,341,030	24,248	1.8%
歳出決算額 B	1,303,830	1,327,861	24,031	1.8%
形式収支 C = A - B	12,952	13,169	217	
繰越財源 D	8,538	9,339	801	
実質収支 E = C - D	4,414	3,830	584	

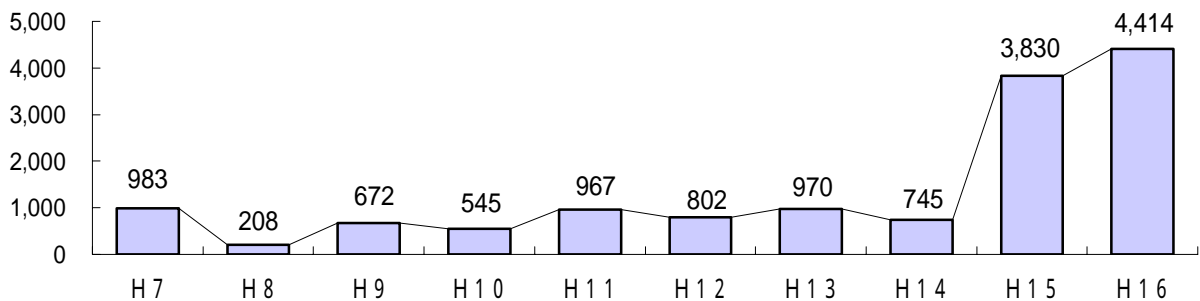
一般会計決算の状況

単位：百万円



実質収支の推移

単位：百万円



実質収支：形式収支（歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額）から翌年度に繰り越す事業に充てるための財源を差し引いたもので、当該年度に属すべき収入と支出の差を示しています。

その金額の1/2は財政調整基金に繰り入れ、1/2は前年度繰越金として翌年度の歳入となります。

**《歳入・歳出》前年度に比べ1.8%減
過去10年間で最も小さい規模**

詳しくは4～8ページをご覧ください。

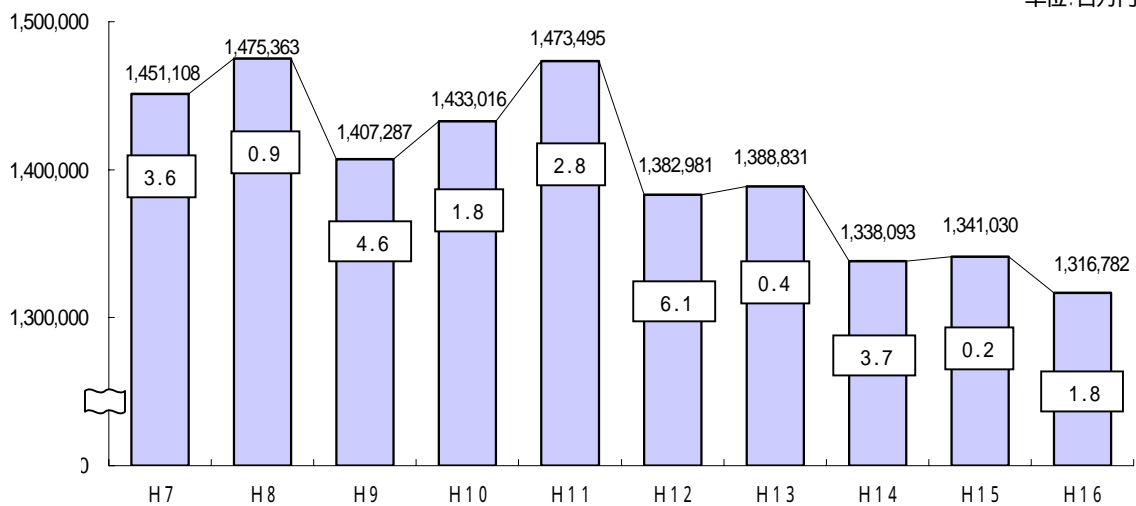
歳入・歳出ともに、過去10年間で、最も小さい規模となりました。

歳入は、市税や地方交付税などの減や、市債の発行抑制に努めたことなどにより、前年度に比べ242億4,800万円(1.8%)減の1兆3,167億8,200万円となりました。

歳出は、様々な市民ニーズに対応するにあたり、効率的な事業執行に努めたことなどにより、前年度に比べ240億3,100万円(1.8%)減の1兆3,038億3,000万円となりました。

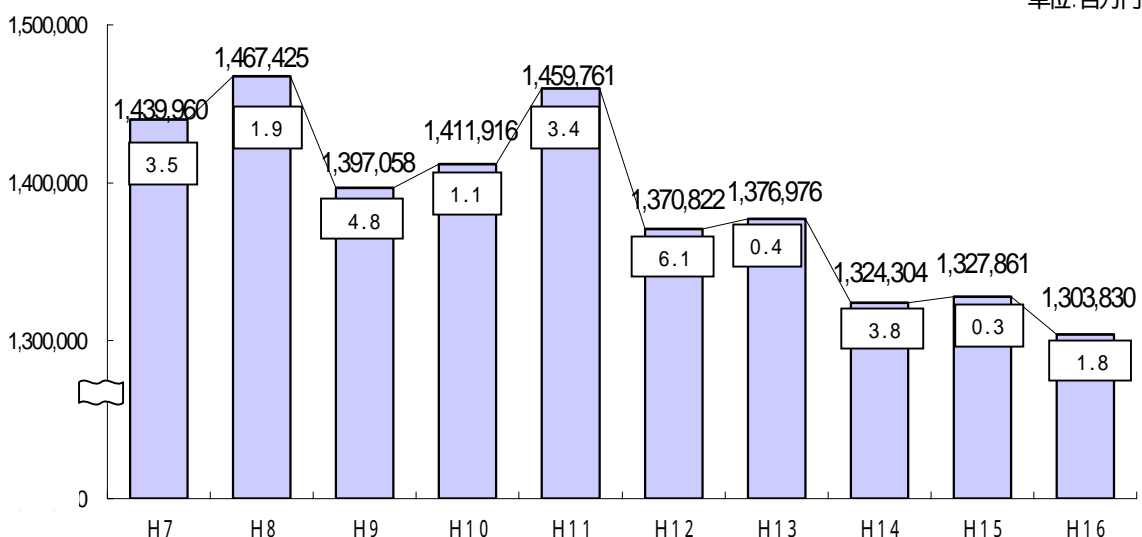
歳入決算額の推移

単位:百万円



歳出決算額の推移

単位:百万円

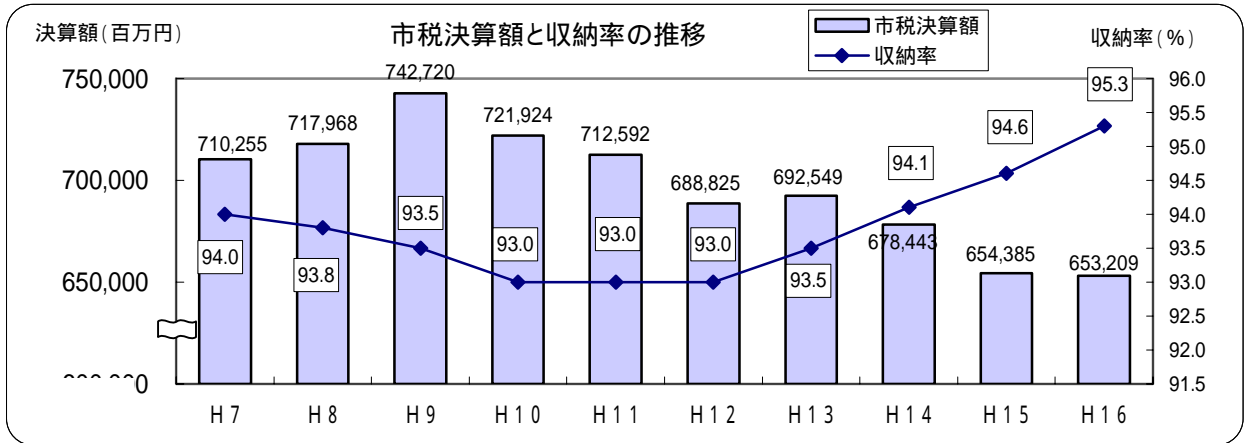


《市税》前年度に比べ0.2%減、過去10年間で最も低い額

詳しくは5・22ページをご覧ください。

市税は、法人市民税が増となったものの、個人市民税(43億9,900万円)や固定資産税(18億900万円)の減などにより、前年度決算比0.2%減(11億7,600万円)の6,532億900万円となりました。これは過去10年間で最も低い額となり、ピーク時の9年度と比べると、895億1,100万円の減となります。

一方、局と区が一体となった収納対策の強化などにより、収納率については、前年度比で0.7ポイントと大幅に向上し、95.3%と過去10年間で最高となりました。また、滞納額も前年度より54億円減少し263億円となり、過去10年間で最も低い額となりました。



《市債》発行額は前年度に比べ8.2%減

詳しくは6ページをご覧ください。

一般会計の市債発行額は、中期財政ビジョンに基づく発行抑制に努めた結果、前年度に比べ128億2,800万円(8.2%)減の1,435億5,000万円となりました。

なお、一般会計の市債残高は、16年度がピークで17年度以降は減少に転じる見込みです。

